

科目名	上級簿記B Advanced Bookkeeping B						
科目担当者	出山 実 IDEYAMA Minoru						
単位数	2	配当年次	1年	授業形態	講義	開講学期	後期
履修学部・学科 [区分]	経営学部・経営学科 [専門教育科目 基礎専門科目]					ディプロマポリシーとの関連	(1)(4)
授業の概要	<p>企業取引の複雑化、会計基準の国際化に伴い、簿記処理の高度化（金融商品や退職給付会計など）が進んでいます。近年は、会計ソフトの発展で、簿記処理を逐一覚える必要がないとの論調もありますが、逆にこのような時代だからこそ、1つ1つの簿記処理の理論的背景を把握し、その取引が持つ意味を理解できることが必要になります。本講義では、日商簿記1級レベルの商業簿記・会計学を学習します。</p> <p>講義の進め方は、テキストに基づいて、前半は講義、後半は演習問題と解答解説を行います。</p>						
授業の到達目標	<p>①ビジネス社会で求められる高度な簿記知識・簿記理論を習得する。</p> <p>②損益会計、企業合併、連結会計、キャッシュ・フロー計算書について理解する。</p>						
授業計画・内容	1	オリエンテーション					
	2	研究開発費とソフトウェア					
	3	会計上の変更と誤謬の訂正					
	4	企業結合、事業分離					
	5	連結会計 1：基礎知識					
	6	連結会計 2：連結会社間の取引					
	7	持分法					
	8	税効果会計					
	9	連結上の税効果会計					
	10	減損会計 2：のれんと共用資産の減損					
	11	資産除去債務 2：除去費用の見積りの変更					
	12	退職給付会計 2：過去勤務費用と数理計算上の差異					
	13	社債 2：買入償還					
	14	純資産 2：ストックオプション					
	15	キャッシュ・フロー計算書					
授業外学修 (事前学修)	毎回、教科書の対象範囲を確認する(1時間程度)。						
授業外学修 (事後学修)	講義で学んだ内容に関する練習問題を課す(3時間程度)						
成績評価方法・ 評価比率・到達 目標との対応	成績評価方法				評価比率		到達目標との対応
	定期試験 小テスト				90% 10%		①② ①②
成績評価基準	<p>秀：(評点 90 点以上) 到達目標を極めて高い水準で達成している場合</p> <p>優：(評点 80 点～89 点) 到達目標を高い水準で達成している場合</p> <p>良：(評点 70 点～79 点) 到達目標を一定の水準で達成している場合</p> <p>可：(評点 60 点～69 点) 到達目標を最低限の水準で達成している場合</p> <p>不可：(評点 60 点未満) 到達目標に達していない場合</p>						
教科書	<p>『サクッとわかる日商 1 級 商業簿記・会計学基礎編 1 テキスト』(ネットスクール出版)</p> <p>『サクッとわかる日商 1 級 商業簿記・会計学基礎編 2 テキスト』(ネットスクール出版)</p>						
参考文献							
その他	<p><どのような学生の受講が望ましいか></p> <p>・簿記・会計の分野に興味がある学生 ・日商簿記 2 級、全商簿記 1 級レベルの学生 ・将来、経理・財務担当者、銀行員、商業科の教員になりたい学生</p> <p><あらかじめ受講して欲しい科目></p> <p>なし</p> <p><併行して受講して欲しい科目></p> <p>会計学</p>						